



市川市立妙典中学校だより 10月号

息吹 03



学校教育目標 未来を拓く妙典中学生 ~明るく・正しく・美しく~

〇ふれあいを大切にす生徒 〇進んで学ぶ生徒 〇頑張り抜く生徒 令和3年10月22日

〔表題「息吹」は、妙典中校歌、2番の歌詞「♪~世界の息吹うけとめて、生きる力を身につけん~♪」から付けました。「03」は令和3年度を表しています。生きる力を身につけ、未来を拓く妙典中学生の育成を目指します。〕

2学期スタートから約2か月

夏休み中に感染拡大状況が悪化し、この先どうなるか予測がつかない中、9月の新学期を迎えることになりました。本市の小中学校では、感染予防を強化し教育活動の一部を制限しながらも、休校や分散登校は実施せず、通常通り学校を開けることを決断いたしました。保護者の皆様にはご心配をおかけしたと思います。正直、かなりの緊張感の中でのスタートでした。子供たちにもそれは伝わっていたことと思いますし、よく頑張ってくれたと思います。ご家庭にも様々なご理解とご協力をいただき感謝しております。お陰様で学級閉鎖等もなく、今日まで過ごすことができました。ひとまず緊急事態宣言等が解除され、少しだけほっとしています。制限されていた教育活動も段階的に緩和される予定ですが、この先も冬場に向けてまだまだ予断を許さない状況は続きますので、引き続き感染予防を十分に意識しながら、教育活動を続けていきたいと思ひます。



行事関係についてですが、9月に予定していたキャリア教育セミナーは中止させていただきました。地域の方と触れ合い、職業人から直接お話を伺えるとても貴重な機会であるだけに、大変残念な思いです。地域の方との交流やキャリア教育については、現状でできることを模索しながら今後も大切にしていきたいと思ひます。

合唱祭も年間計画では10月に全校での開催を予定していましたが、長く合唱そのものが制限されており、例年の形での開催は難しいと判断いたしました。3年生は11月5日(金)にそれぞれの学級の発表をリモートで見せ合う形の学年行事として開催いたします。1・2年生もそれぞれ11月と1月に、学年行事として実施する方向で調整しています。

旅行的行事は、3学年とも本来予定していた場所や時期での実施ができなかったことから、代替案を検討してまいりました。3年生は10月28日(木)29日(金)に房総方面(勝浦市泊)で千葉県歴史や文化を学ぶ修学旅行を、2年生は12月2日(木)に「木更津クルックフィールズ」にて自然や環境を学ぶ校外学習を、1年生は11月30日(火)に「東京ディズニーシー」にて接遇の心や働く意義を学ぶ校外学習を実施する運びとなりました。それぞれの学年が、子供たちへの思いと目的をもって、現状で可能な中で最善と考えて計画した行事ですので、何卒ご理解ください。また、無事に行き帰ることができるように、様々な感染対策へのご協力をお願いいたします。

第2回学校運営協議会

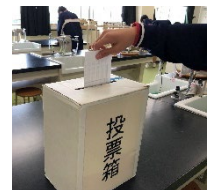
9月17日(金)に、「地域の方や保護者等が一定の権限と責任を持って学校運営に参画することにより保護者や地域の声を学校運営に生かす仕組み」である、学校運営協議会が開催されました。

第2回目今回は、校長から学校の現状と本校の特色ある取組について説明してご意見をいただくとともに、教職員の任用についてもご意見をいただきました。教職員については「職員の経験年数や特性がバランスよく、学校の実情に合った任用をお願いしたい」「異業種や異校種での経験を持った教員の任用も必要ではないか」などの意見が出ました。第3回は令和4年2月25日(金)に開催する予定です。



生徒会役員が決まりました

9月21日(金)生徒会役員選挙が行われました。立候補者と応援弁士による演説のあと、投票が行われ、新しい生徒会役員(会長1名、副会長2名、書記2名、会計2名、会計監査2名)が決まりました。それぞれの候補者が、妙典中のこれからについて自分の言葉で志を語る様子はとても頼もしく、各教室で演説を聞く生徒も、その言葉の意味や込められた思いをしっかりと受け止め、責任をもって投票していました。新しいリーダーとともに、生徒一人一人がそれぞれの立場で、「生徒主体の妙典中」を新たに作り上げていってくれることを期待しています。



避難訓練にて



10月14日（木）に避難訓練を実施しました。今回は大地震と津波発生を想定して行いました。避難指示の放送から、生徒全員の避難完了を確認するまでに要した時間は約5分で、これだけの人数が避難して整列するまでの時間としては大変早く、子供たちの避難行動もとても真剣で整然としていて、意識の高さがうかがえました。校長講話として以下の話をしました。ご家庭でも防災について、話題にするきっかけにいただければと思います。

皆さんは「正常性バイアス」という言葉を聞いたことがありますか。バイアスとは、「偏見や思い込み」というような意味で、「正常性バイアス」は心理学用語です。人間が予期しない事態に遭遇したとき、「ありえない」という先入観や思い込みが働き、物事を正常の範囲だと自動的に認識してしまう心の働きを指します。何かが起こるたびに過剰に反応していると精神的に疲れてしまうので、人間にはそのようなストレスを回避するために自然と脳が働き、心の平安を守る作用が備わっているそうです。

しかし、実際に正常の範囲とは程遠いような、非常事態が起きた時も、この脳の防御作用（＝正常性バイアス）によってその認識が妨げられ、結果、生命の危険にさらされる状況を招いてしまうことがあります。

甚大な被害を出した東日本大震災でも、「大地震の混乱もあり、すぐに避難できなかった」「あれほど巨大な津波が来るとは想像できなかった」と思った人がたくさんいらしたことが、のちの報道によって明らかになりました。

つい先日、東京と埼玉で震度5強を記録する大きな地震がありました。市川でもかなり大きな揺れを感じましたが、その時の皆さんの心理はどうでしたか。最悪の事態を想定して迅速な行動をとれましたか。それとも大きな揺れに動揺しながらも「なんだかんだ言って、また今回もたいしたことはないだろう」と、心のどこかで決めつけていませんか。

「正常性バイアス」に惑わされず、いつでも状況に応じた的確な行動がとれるように、日頃から「今、大地震や火災などが起きたらどう身を守るか。その後、どのように行動するか」など、実感を持って災害に対する心構えを作っておきましょう。

オープンスクール

10月20日（水）に、オープンスクールを開催しました。時間帯や参観時間を制限しての実施とさせていただいた中、170名を超える方々にご来校いただき、感謝申し上げます。また、QRコードを利用したアンケートへのご協力も、ありがとうございました。結果は次のとおりです。

全体的に肯定的な評価を多くいただきましたが、「授業の工夫」や「生徒の挨拶」についてはまだまだ十分でないというご指摘と受け止め、引き続き

単位 (%)	そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない
生徒は授業中熱心に取り組んでいましたか	87.5	12.5	0	0
授業はわかりやすく工夫されていましたか	58.3	41.7	0	0
生徒はよく挨拶できていましたか	50.0	41.7	8.3	0
授業を行うための環境は整っていましたか	79.2	20.8	0	0

しっかり取り組んでまいります。自由記述として授業その他に関して寄せいただいたご意見を、一部紹介いたします。多くのご意見をいただき、ありがとうございました。

- 授業を静かに受けていました。板書を拝見しましたが、とても見やすかったし、確認を取りながら進めていて私にもわかりやすかったです。
- 集中していない生徒がいたが、生徒同士で注意し合う様子も見られ、頑張っているなと感じました。
- 早くマスク無しで授業ができたらいいなと思いました。先生も大きな声を出さなくて済むし、生徒のほんのつぶやきも拾えるようになるし…もう少しの辛抱になりますようにと願いました。
- タッチスクリーンを上手く活用してわかりやすかったです。
- 分かりやすく丁寧な授業だったと思います。子供たちも良く集中して授業に取り組んでいたように見受けられました。
- PDFのポスター作成など実務に役立つ内容を教えていて良いと思いました。
- 生徒は静かに先生の講義を聴いていた。タブレット等を使用して日常の授業に浸透していると感じた。

校長室より…

進路選択に向けて、9月末より3年生の校長面接を始めています。ほとんどの生徒が姿勢正しく、適切な言葉遣いで自分の思い、考えをはっきり述べることで、とても感心します。「尊敬する人は？」と聞くと家族や先生を挙げる人も多く、ちょっと嬉しくなります。緊張しながらも精いっぱい受け答えする姿に、真面目な性格や優しい人柄などそれぞれの良さが伝わってきて、好感が持てます。終わってから「どうだった？」と聞くと「あまりうまく話せませんでした」と答える人も多いですが、反省点が修正できれば、本番には自信をもって臨んでいいと思います。がんばれ3年生！

